

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 I	地域での包括的な支援のために
--------	----------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況										
				目標	実績	達成度	達成度	達成度	達成度	達成度				①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）										
1 他分野・他機関連携体制の整備	1	福祉総合相談支援体制の整備	福祉総務課	福祉総合相談窓口の設置	目標	実施方法の検討	担当課協議	予算の確保	設置	実施	—	断らない総合相談窓口の整備に向け、国が開催する研修会に参加し、先進地事例や国の動きなど情報収集を行ったことにより、国が推進している断らない総合相談窓口のイメージを掴むことができた。 また、システム開発業者と総合相談窓口システムの開発に向けた協議により、意思疎通を行うことができた。 国が推進している断らない総合相談窓口のイメージを掴むことができ、総合相談窓口システムについて、開発業者と意思疎通を行うことができた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①総合相談窓口のあり方や運用方法、システム導入の要否、設置にあたっての財源の確保などについて、引き続き検討する必要がある。 福祉総合相談支援包括化推進員について、直接雇用が事業委託を行うか検討が必要である。 令和4年度の市役所新庁舎の供用開始に合わせ、引き続き検討を行っていく。 令和2年度については、保健福祉部内の相談窓口を所管する担当課で集まり、具体的な総合相談窓口のあり方について、協議を行う。										
					実績	検討中																		
					達成度	75%																		
				福祉相談支援包括化推進員の設置	目標	実施方法の検討	実施方法の検討	委託先の選定	設置	実施														
					実績	検討中																		
					達成度	25%																		
2 地域医療・福祉の充実	2	生活支援体制整備事業	地域包括支援課	地域協議体(地区)	目標値	27	27	27	27	27	協議体	地域協議体の開催(年3回程度)や地域協議体委員を対象とした研修会を実施し、地域住民相互の支え合い体制づくりについて検討をおこなった。 また、地域ごとに高齢者アンケートを実施し、地域の困りごとなどの実情把握とその課題解決に向けた検討を行った。類似公民館等を活用した「通いの場」の充実、介護予防のための運動教室やサロンの開催を行い、地域内の交流を促進した。 また、支え合い体制をさらに具現化するために、新たに住民主体の訪問サービス（御用聞き）の実施の検討・準備を行っている地域も出てきた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①地域協議体はあくまで情報共有・検討の場であり、実際に具体的な取り組みを行う際には、各団体の枠を超えた協力体制の下、確固たる実施組織の立ち上げが必要。 団体に属していない住民をどう活動に巻き込むのか。 実施組織については、地区社協の1つの部会とする、団体の枠を超えた新たな組織を作る、など、地域の実情に応じて展開する。 ②地域協議体の取り組みや活動を知ってもらい、可能な範囲で参加・協力をしてほしい。										
					実績値	25																		
					達成度	93%																		
				生活支援コーディネーター	目標値	14	14	14	14	14														
					実績値	12																		
					達成度	86%																		
	3	在宅医療・介護連携推進事業	地域包括支援課	多職種研修会	目標	2	2	見直し	見直し後の数値	見直し後の数値	—	相談対応：「在宅医療・介護連携支援センター」月平均10件 会議開催：在宅医療・介護連携支援センター運営委員会1回、ワーキンググループ委員会11回、訪問看護部会6回、退院支援ルール調整会議2回 研修会等の開催：地域医療講演会1回 参加者286人、多職種連携研修会3回 参加者延544人、住民公開講座2回 参加者延405人 ワーキンググループ委員会、多職種連携研修会等を通して、多職種が連携しやすい環境として顔の見える関係づくり、ネットワークづくりが出来てきた。住民公開講座では「人生の最期まで自分らしく生きる」をテーマに多くの参加者があり、在宅医療と介護連携について地域住民の理解を図った。	4.0	順調に進んでいる ①研修会参加者の固定化、同職種間の取り組みに対する温度差があるため、多職種研修会については、年間を通じた継続研修を行い、多職種連携や同職種連携を深める必要がある。また、エンディングノートの普及啓発を検討したい。 ②在宅医療・介護連携について関心を持ち、住民公開講座等に参加してほしい。										
					実績	3																		
					達成度	150%																		
					4	離島診療所の医師及び看護師確保	保健医療課	離島診療所の医師数 ⇒神集島1人 高島 1人 加唐島1人 馬渡島1人 小川島1人	目標値	5						5	5	5	5	人	高島診療所において、令和元年度途中で健康上の理由により医師が退職したため、医師が欠員することとなった。 離島診療所医師等によるシフト制の医療体制に移行し、専従医師の確保ができ、初期の目的を達成した。	4.5	順調に進んでいる ①シフト制の医療体制に移行したため、今後どのような診療体制にするか協議が必要。 医師不足による医師確保が厳しい中、従前どおり医師確保をし医療体制を構築するか否かを含め、今後の離島の診療体制について抜本的な方針を見直しする必要がある。	
									実績値	4.8														
									達成度	96%														
離島診療所の看護師数 ⇒神集島2人 高島 1人 加唐島1人 馬渡島2人 小川島1人	目標値	7	7	7	7			7																
	実績値	7																						
	達成度	100%																						

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 I	地域での包括的な支援のために
--------	----------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等					単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況		
				R 1	R 2	R 3	R 4	R 5				①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）		
3 地域の見守り体制の充実	5	小地域福祉活動推進事業補助金	福祉総務課	福祉員設置数	目標	891	891	おおむね50世帯に1人	おおむね50世帯に1人	おおむね50世帯に1人	人	福祉員の活動に対し補助を実施することで、地域の見守り活動や外出支援など、地域内における支援体制が整備された。 民生委員のサポート役である福祉員が、地域における見守り活動や外出支援など地域で活動することで、より細やかな地域ニーズを把握することができた。	4.0	①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）
					実績	857								順調に進んでいる
					達成度	96%								①未だ福祉員を配置出来ていない地域があるため、全地域に最低1名は配置できるよう、福祉員の必要性等を周知していく必要がある。
	6	民生委員費	福祉総務課	民生委員定数	目標	336	336	336	一斉改選	定数見直し検討	人	唐津市民生・児童委員連絡協議会の運営及び活動に対し補助を実施した。 令和元年12月の一斉改選に合わせて、地域の実情をとりまとめて、担当区域を見直すとともに定数の増員を行った。	4.0	順調に進んでいる
					実績	335								①民生委員・児童委員に求められる活動が多様となっていることから、委員の負担軽減を図る必要がある。 新型コロナウイルス感染防止に配慮した民生委員活動を検討する。
					達成度	99%								市で福祉の総合相談窓口を設置し、問い合わせ先などを一本化する。また、保健福祉ガイドブックを作成し民生委員・児童委員に配布することで、事案に応じた対応を速やかに確認することができる体制を整える。
				研修会への参加	目標	112	112	112	112	112	人	民生委員・児童委員の研修などの充実により、各委員の資質向上を図ることができた。また、活動を補助することにより、各委員の経済的負担を軽減し、円滑な委員活動に寄与した。		
					実績	125								
					達成度	117%								
	7	既存公共施設の地域の見守り拠点化の検討	福祉総務課 生涯学習文化財課	地域の見守り拠点の設置	目標	検証	130	130	130	130	箇所	今の取り組み状況を把握するため、関係各課に既存公共施設を利用した地域の見守り事業の実施状況を照会し、課題の把握及び関係各課において情報共有ができた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある
					実績	実施								①地域間で事業取り組みの偏りがみられ、地域において見守り事業に取り組む人材が不足している。まずは実施されていない地域において、事業展開を検討する。 見守りの拠点となるよう、今後も市立公民館で開催している主催事業等や地域行事への参加案内により地域内の交流を促進する。
					達成度	50%								②地域行事への積極的な参加、呼びかけなど、住民同士の顔が見える関係づくりをお願いしたい。
8	学校・家庭・地域社会の連携強化	学校教育課 学校支援課	外部人材の活用	目標	10,000	12,732				人	第一中学校校区の3校（第一中学校、長松小学校、大志小学校）において、コミュニティースクールが設置されており、中学校における職場体験学習や面接指導、小学校における読み聞かせ活動、授業におけるゲストティーチャーとしての活動等を行った。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある	
				実績	12,732									
				達成度	127%								①学校・家庭・地域との連携をする上で、コーディネートをする役割をする地域人材が必要である。 第一中学校校区のコミュニティースクールの取り組みを支援しながら、今後の学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちを育む地域とともにある学校づくりを推進する。	
			—	目標	—	—	—	—	—	—	様々な学校行事や学習活動を家庭・地域の協力を得て行うことで、児童生徒の教育活動についての学校・家庭・地域における連携を強化した。			
				実績	—	—	—	—	—					
				達成度	—	—	—	—	—					

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 II	利用しやすい福祉サービスの提供のために
---------	---------------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等					単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況						
				R 1	R 2	R 3	R 4	R 5				①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）						
4 情報提供の充実	9	唐津市保健福祉ガイドブック(仮称)の発行	福祉総務課	ガイドブックの発行	目標	掲載内容及び発行方法の検討				発行	—	どのような掲載内容及び発行方法でのガイドブックが良いか、他市のガイドブックの情報や企画会社からサンプルを取り寄せ、ガイドブックの発行に向けたイメージを掴むことができた。 なお、発行時期については、新庁舎の供用開始に合わせるため、令和4年度を目標に見直した。	4.0	①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）				
					実績	検討中								順調に進んでいる				
					達成度	75%								①冊子の発行に向け、どこまでの情報を掲載するのか、関係各課で協議を行う必要がある。予算の確保に向け、財源を検討する必要がある。 令和2年度は、保健福祉部ですでに発行しているガイドブックの検証を行い、保健福祉ガイドブックそのものの必要性について検討したい。				
5 相談支援体制の充実	10	各相談支援窓口職員向け研修の実施	保健医療課	職場外研修の受講	目標値	6	6	6	6	6	回	新任期保健師研修会9名・中堅期保健師研修会5名・市町村保健師管理者能力育成研修会2名・九州ブロック保健師等研修会1名・九州地区母子保健指導者研修会(8名)・日本公衆衛生看護学会1名の職場外研修の受講ができた。また、職場内研修の機会として保健事業連絡会を実施した。 研修を受けることにより、それぞれの年代で担っている保健師としての役割を学ぶことができ、また、専門的知識を学ぶことにより、相談従事専門職として力量形成を図ることができた。	4.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある				
					実績値	6									①相談業務は様々なケースがあり、経験年数が少ない職員の育成が課題である。 地区担当制及び業務担当制をとし、職員育成を推進していく。(共に訪問等の相談業務にあたることにより後輩職員が先輩職員から学ぶ場を作っていく)			
					達成度	100%												
				職場内研修(保健事業連絡会)の実施	目標値	12	12	12	12	12	回							
					実績値	11												
					達成度	92%												
			子育て支援課	家庭児童相談員及び母子父子自立支援員に関する研修の受講	目標	4	4	4	4	4	回	佐賀県児童虐待防止対策研修会(10日間)3名、佐賀県家庭児童相談員連絡協議会3名、DV関係機関相談員向け研修(5日間)1名、DV被害者支援市町連携会議2名、子ども虐待予防地域連携研修会2名などの研修を受講している。各業務の相談援助技術を高めることができた。 また、関係する法律の理解を深めたことで、行政機関としての相談支援の質の向上に繋がった。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある				
					実績	4									①研修参加により相談員が不在する場合にも、係内、課内で対応できるよう職員の意識の醸成が課題。			
					達成度	100%												
			障がい者支援課	研修等への参加	目標	12	12	12	12	12	回			県主催の相談支援従事者初任者研修・現任者研修・専門コース別研修への参加及び講師派遣、佐賀県相談支援事業連絡協議会への参加、佐賀県相談支援ネットワーク協会研修会へ積極的に参加した。 障がい者相談員の相談支援に関するスキルアップに繋がりを、円滑な相談支援体制の醸成が図られた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
					実績	10											①障害者相談員の中心的な役割を担う相談員（スーパーバイザー）の育成、自主的に相談に来られない地域の障がい者の方々の把握。 主任相談支援専門員養成研修への積極的な参加。地域の機関に協力を依頼するなど、相談支援センターから障がい者の相談支援に繋がる方法を検討。	
					達成度	83%												
高齢者支援課	—	目標	—	—	—	—	—	—	認定調査員研修(厚労省)1人、認定調査スキルアップ研修(民間)2名、介護相談員養成研修(委嘱介護相談員)14名、在宅医療・介護連携多職種研修4名などの研修を受講している。	4.0	順調に進んでいる							
		実績	—									①専門的な相談支援を実施するため、経験年数が少ない職員の育成が課題である。今後は研修で得た知識等を職場内で共有することで理解を深める、職場全体のスキルアップを目指す。						
		達成度	—															
地域包括支援課	—	目標	—	—	—	—	—	—			各専門職が専門性を高めるため、国、県、関係団体等主催の研修を積極的に受講した。必要に応じて報告会を行う等課内で情報共有を行った。 各専門職のスキル向上につながった。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある					
		実績	—											①専門職の人材不足等により十分な相談支援体制ができていない。 人材確保、相談支援体制の検討が必要。R2年度は専門職の人材募集を引き続き行うとともに複数の職員で窓口相談対応ができるような課内の体制を検討する。				
		達成度	—															

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 II	利用しやすい福祉サービスの提供のために
---------	---------------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況									
						①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）																	
6 権利擁護体制の整備	10	各相談支援窓口職員向け研修の実施	生活保護課	—	目標	—	—	—	—	—	—	自立相談支援事業従事者養成研修（厚労省）、家計相談支援事業従事者研修（厚労省）、佐賀県生活困窮者自立支援従事者伝達研修などの研修を受講している。各相談支援員のスキル向上に繋がった。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①生活困窮者に対応するため、各方面の機関と連携が必要であり、それに伴う知識が要求される。相談支援員各々の質の向上のためにも、積極的に研修等を受講することが理想であるが、人員体制及び予算が伴わない。研修会へ積極的に参加できる体制を構築する。令和2年度については、未受講の相談支援員が率先して受講できるようにする。									
					実績	—	—	—	—	—													
					達成度	—	—	—	—	—													
	11	民生委員・児童委員及び福祉員の研修活動への支援業	福祉総務課	—	目標	—	—	—	—	—	—	唐津市民生・児童委員連絡協議会の運営に対し補助を実施することで、各地区協議会で研修会などを開催し、民生委員・児童委員の資質向上を図ることができた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①民生委員・児童委員と福祉員が連携した活動の支援を行うため、市社協や地区社協と連携し支援したい。									
					実績	—	—	—	—	—													
					達成度	—	—	—	—	—													
	12	福祉部門に配置する専門職の雇用	人事課	新規採用職員 専門職募集数	目標値	3	実情に応じて検討				人	福祉部門で主に相談支援業務に従事する専門職職員として、社会福祉士の採用枠を設け、募集を行った。令和元年度は通常の募集枠（1名）のほか、市外在住者を対象とした民間企業経験者枠（若干名）を設け、募集を行った結果、民間企業経験者枠で1名を採用することができた。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①募集人数に対し応募者数が少ないため、応募者数の確保に向けた取り組みが必要。									
					実績値	2																	
					達成度	66%																	
	7 災害・緊急時の支援体制の充実	13	成年後見制度利用支援事業	障がい者支援課 【障がい者】	申立件数	目標値	1	3	見直し	見直し後の 数値	見直し後の 数値	件	成年後見制度等の相談を受け付け、支援会議を開催し市長申立を行った。また本人の資力等を考慮し報酬助成を行った。 成年後見等申立件数 4件 報酬助成 1件	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①障がい者支援課と地域包括支援課でそれぞれの窓口で相談を受けており、統一した相談機関がない。後見人の担い手の不足もあり、中核機関の設置による相談から選任までのマッチングが課題となっている。 中核機関の設置に向けた協議を継続して実施する。また、成年後見人の担い手不足の解消に向け、関係機関との連携を図る。								
						実績値	4																
						達成度	100%																
地域包括支援課 【高齢者等】				申立件数	目標値	4	4	見直し	見直し後の 数値	見直し後の 数値	件												
					実績値	4																	
					達成度	100%																	
成年後見人報酬助成件数		目標値	3	4	見直し	見直し後の 数値	見直し後の 数値	件															
		実績値	1																				
		達成度	33%																				
14		避難行動要支援者名簿の活用と啓発	福祉総務課 危機管理防災課	平時からの情報提供同意者数	目標	4,000	4,250	4,500	4,750	5,000	人	避難行動要支援者名簿を毎月更新し、新たに名簿に登録された方に対し、地域の支援組織への情報提供するための同意確認を行い、同意を得た方の名簿を駐在員、民生委員・児童委員に提供することで、地域の要支援者の情報を共有できた。	3.5	概ね順調だが、不十分な点が少しある ①地域の支援組織への情報提供に関する同意確認に未回答の方がいるため、毎年度、勧奨通知を行う。 ②避難行動要支援者制度の理解を深めていただきたい。									
					実績	3,502																	
					達成度	87%																	
	15				自主防災組織の設置促進	危機管理防災課	自主防災組織設置数	目標	137	73						76	79	82	組織	自主防災組織の立ち上げに関する相談に応じ、地域での防災講話を実施した。また、自主防災組織が行う防災訓練や資機材整備に対し補助を行った。	2.5	実施されている部分もあるが、不十分な点が多い ①2年続けた豪雨災害の教訓を踏まえて災害対応体制の見直し作業など、緊急性の高い業務を優先しているところで、十分な推進を行うマンパワーが足りない。 ②地域の災害時避難行動要支援者や要配慮者のことを把握していただき、万が一の場合に地域でどのように助け合うべきか理解を深めていただきたい。	
								実績	71														
								達成度	52%														

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 Ⅲ	福祉サービスの向上のために
--------	---------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況	
						①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）									
8 福祉サービスの質と量の充実	16	福祉サービス苦情解決制度	福祉総務課	—	目標	—	—	—	—	—	—	施設ごとに苦情解決責任者、担当者を配置したことにより、社会福祉施設の苦情解決に一早く対応できるよう、体制整備が出来た。	4.0	順調に進んでいる	
					実績	—	—	—	—	—				①苦情につながる前の環境づくりをさらに強化する必要があるため、今後、各施設から定期的にヒアリング等を行い、ニーズ等の把握に努める。	
					達成度	—	—	—	—	—					
9 新たな福祉ニーズへの対応	17	個別計画策定（見直し）時における当事者の参画	保健医療課	健康増進計画及び食育計画策定（統合で策定）	目標値	進捗管理	進捗管理	実態調査	最終評価	策定	—	（健康増進計画、食育計画） 健康づくり推進協議会並びに食育推進ネットワーク会議において計画の進捗状況を確認するとともに、計画に沿った各種事業を行った。 関係部署との情報共有、方向性の統一を図ることができた。	4.0	順調に進んでいる	
					実績値	実施								①関係機関や事業関係者等の意見など広く意見を聴取する必要がある。 健康増進計画、食育計画を統合し、令和5年度に策定予定。	
					達成度	75%									
			子育て支援課	第三期子ども子育て支援事業計画（R6策定予定）	目標値	第2期策定	見直しの審議	見直しの審議	見直しの審議	実態調査	—	市内に居住する小学校就学前の児童2,000人の保護者および小学生2,000人の保護者を対象に、平成30年度に実施した子育て支援ニーズ調査をもとに、子ども・子育て会議を開催し、その中で市の現状と今後の課題を整理して、第二期子ども・子育て支援事業計画を策定した。 市を取り巻く環境や、ニーズ調査の結果を踏まえ、今後の課題として整理することができた。	4.0	順調に進んでいる	
					実績値	策定済	—	—	—	—				①急速な少子化の進行、児童虐待件数の増加、子どもの貧困問題、障がいのある子どもや新しい生活様式の影響への対応の必要性など、事業の見込み値と実情が大きく乖離しないように、子どもと子育て家庭を取り巻く環境の変化を重視して、対応していく必要がある。 また、令和5年度に子育て支援ニーズ調査を実施、その結果を基に令和6年度に市の現状と今後の課題を整理し、次期計画を策定する。	
					達成度	100%	—	—	—	—					
			障がい者支援課	からつ自立支援プラン策定（唐津市障がい福祉計画・唐津市障がい児福祉計画）策定	目標値	—	策定	検証	検証	策定	—	令和元年度において、個別計画策定（見直し）は行っていない。	—	①当事者の意見、事業関係者等の意見など広く意見を聴取する必要がある。 令和2年度、5年度、からつ自立支援プラン策定予定（3年ごと）、令和9年度第3次唐津市障がい者基本計画、策定予定（10年ごと）	
					実績値										
					達成度										
			高齢者支援課 地域包括支援課	高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定	目標値	調査	策定	検証	調査	策定	—	令和元年度は、次期計画策定年度である令和2年度の準備として、高齢者要望等実態調査を行い、高齢者等が抱える課題や要望等を数値的に拾い上げ、集計する作業を行った。※3か年計画のため、1年目は特に作業無しの年度、2年目は高齢者要望等実態調査の実施年度、3年目は次期計画策定年度、というサイクルとなっている。 集計表を基に、令和2年度における課題や要望等の内容分析作業及び次期計画への反映作業を円滑に実行するための準備ができた。	4.0	順調に進んでいる	
					実績値	調査済	—	—	—	—				①1期3か年の計画であるため、激変的にニーズ状況や求められる内容が変わった場合、次期計画まで最大3年間の反映遅れが発生する可能性がある。 日々業務の中で常に最新情報の収集を意識し、先手的に次期計画に反映させるよう努める。高齢者要望等実態調査の実施年度以外の年度についても、常にニーズの動きに敏感になるよう努める。	
					達成度	100%	—	—	—	—					

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 Ⅲ	福祉サービスの向上のために
--------	---------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等					単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況						
				R 1	R 2	R 3	R 4	R 5				①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）						
	18	住宅改修費の助成	障がい者支援課 【障がい者】	給付件数	目標	5	5	見直し	見直し後の 数値	見直し後の 数値	件	下肢障がい（3級以上）または体幹障がい（3級以上）を持つ人に対して、スロープの設置や段差の解消などの住宅改修費を助成した。 4件（本庁2件、北波多1件、相知1件） 公費負担額計770,000円	3.0	順調に進んでいる				
					実績	4								①下肢障がい・体幹障がいを持つ難病患者など、制度を利用できる対象者に周知ができていない。制度上、助成回数が1回のみとなっている。 病院や保健福祉事務所など関係機関と連携し、制度の周知に努める。助成回数について、関係部署と連携し、研究に努める。				
					達成度	80%												
			高齢者支援課 【高齢者】	給付件数	目標	336	336	336	336	336				件	住宅改修費支給申請書が提出された場合、内容を確認し申請内容が適当であれば、住宅改修費（20万円限度）から利用者負担分を差し引いた額を支給した。	4.0	順調に進んでいる	
					実績	334												①内容の審査時に、住宅改修として適当と認められる工事の範囲や、工事の適正価格の判断について、専門知識が必要とされる。審査の公平性に努めたい。
					達成度	99%												
	19	高齢者住宅改修支援事業	高齢者支援課	助成件数	目標値	48	48	48	48	48	件	介護支援専門員が住宅改修費の給付申請に係る理由書を作成した場合に、作成事業者に謝金を支払う。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある				
					実績値	25									①介護支援専門員の制度理解のため、周知に努めたい。			
					達成度	52%												

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 IV	参加しやすくするために
---------	-------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況	
						①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）									
11 地域活動の担い手の確保と育成	20	地域コミュニティ組織等の活動への支援	国際交流・地域づくり課	NPO法人登録数	目標値	42	43	44	45	46	団体	2つのNPO法人の設立を支援し、16地区の地域まちづくり会議の活動を支援した。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある	
					実績値	43								①自主財源確保を促す／幅広く人材を募る。実施事業の発表会を行う／職員が伴走する体制づくりを検討する／同様の協議体と、統合又は連携していくことを検討する。さらに市民の自由な社会貢献活動を促進するため、NPO法人設立への支援を実施する。	
					達成度	102%									
	21	がんばる地域応援補助金事業（地域の市民活動の育成を図るソフト事業）	国際交流・地域づくり課	新規助成事業件数	目標	20	20	20	20	20	件	市民のまちづくりへの熱意及び市政への参加意識を高めるとともに、地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを推進する団体が実施する事業に対し、補助金を支出した。	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある	
					実績	14								①他の補助金と競合する事業は対象外とする/事業の継続に関する追跡調査の実施を検討する。事業が継続して実施できるよう、団体の自立化を促進するため補助率の調整を行う。	
					達成度	70%									
12 福祉ボランティアの推進	22	唐津市ボランティアセンターの運営支援	福祉総務課	ボランティア講座数	目標値	6	6	7	7	7	講座	市民を対象とするボランティア養成講座、学校を対象とするボランティア体験講座等の活動に対し、補助支援を行った。ボランティア養成講座10回の開催により、今後市内で活動するボランティア人材の育成に繋がった。 また、学校向け講座では、学生だけではなく地域の方の参加も集い、地域全体としての福祉意識向上を図ることが出来ている。	4.0	順調に進んでいる	
					実績値	10								①ボランティア講座の開催に対し、参加者も増えてきており、福祉の意識向上に繋がってきている。今後、ボランティアのマッチングを適切に行い、必要とされる場所でボランティア活動が活かせよう、取り組む必要がある。また、災害ボランティア講座や研修等を増やし、災害時にスムーズに対応できるような仕組みづくり、運営マニュアル等の作成、危機管理防災課との連携を検討する。	
					達成度	167%									
				ボランティア講座への参加者数	目標	180	180	200	200	200	人				
					実績	155									
					達成度	86%									
	ボランティア連絡協議会会員数	目標	4,200	4,200	4,230	4,230	4,230	人							
		実績	4,200												
		達成度	100%												
	23	市民活動支援センター「ステップ」の運営支援	高齢者支援課	相談件数	目標	100	100	110	110	110	件	共生社会構築の拠点の「総合窓口」として、情報提供や相談など市民の出会いの場を提供した。	4.5	順調に進んでいる	
					実績	100								①事業内容の周知が不足していることから、市報などに利用者の活動状況やコメントを掲載するなど、周知方法を検討する。	
					達成度	100%									
ボランティア派遣件数				目標値	70	70	75	75	75	件					
				実績値	60										
				達成度	86%										
24	介護支援ボランティア制度によるボランティア活動の推進	地域包括支援課	ボランティア登録者数	目標	200	210	見直し	見直し後の数値	見直し後の数値	人	ボランティア活動を行う者として市に登録を行った唐津市に住む65歳以上の高齢者（要支援または要介護認定者を除く）が、市が指定する介護施設などでレクリエーションの指導やお茶出しなどのボランティア活動を行うもの。活動に対してポイントが付き、ポイントを現金に換算して交付金として市が交付する。 高齢者の地域貢献の機会を広めただけでなく、ボランティア活動を行う高齢者自身の介護予防につながった。	4.0	順調に進んでいる		
				実績	228								①制度の認知度が不足していることから、ボランティア活動登録者と受け入れ事業所を拡大させ、介護予防を推進していく。 ②誰でも気軽に参加できるボランティア制度を地域のなかでも広げてもらいたい。		
				達成度	114%										
			ボランティア活動指定施設数	目標値	120	130	見直し	見直し後の数値	見直し後の数値	施設					
				実績値	128										
				達成度	107%										

様式 2

第3期唐津市地域福祉計画 進行管理・評価総括シート（令和元年度）

基本目標 IV	参加しやすくするために
---------	-------------

施策の方向	No.	事業名	担当課	数値目標等		R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	単位	具体的な取り組み内容（何をどのくらい行ったか） 展開に対してどのような成果があったか	自己評価	進捗状況	
						①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）									
13 地域福祉に対する意識の啓発	25	地域福祉の啓発	福祉総務課	—	目標値	—	—	—	—	—	—	市公式ホームページ上にて「地域共生社会」の実現について、その求められる背景や市の取り組みについて啓発するページを掲載し、市民への周知を行うことができた。 誰もが共に支え合う地域社会づくりの一助となるフードバンク活動について、市報やホームページ、福祉まつりにおいて広報することで、市民への周知を行うことができた。	4.0	①課題や今後の方針、②協働事項（その解決のために、市民や地域に協力してもらいたいこと）	
					実績値	—	—	—	—	—				順調に進んでいる	
					達成度	—	—	—	—	—				①ホームページ上での情報を充実させる。市報などほかの媒体での意識啓発について検討を行う。 ②地域共生社会やフードバンク活動の周知をお願いしたい。	
	26	認知症サポーター養成講座の開催	地域包括支援課	講座受講者数	目標	570	626	見直し	見直し後の数値	見直し後の数値	人	公民館等で認知症に関する正しい知識の普及、対応の仕方などについて、寸劇を取り入れながら認知症サポーター養成講座を開催した。（25回開催、参加者579人） 特に令和元年度は若年層に対し重点的に講座を開催した。（加唐小など4ヶ所の小中高校で開催、参加者134名） 受講後のアンケート結果によると、「症状を理解できた」と回答した者は97.3%、「対応を学ぶことができた」と回答した者は98.9%に上り、受講者の大半の方が認知症に対する理解を深めることができた。	4.5	順調に進んでいる	
					実績	579								①認知症サポーター養成講座の受講者が、受講後に地域で活動できる場を作る必要があることから、ステップアップ研修会を開催する。 ②養成講座を受講した方がさらに知り合い等に講座を広めてもらうことで受講者をさらに増やしてほしい。	
					達成度	102%									
				講座実施回数	目標値	30	35	見直し	見直し後の数値	見直し後の数値	回				
					実績値	25									
					達成度	83%									
27	総合的な学習の時間等を活用した福祉教育の推進	学校教育課	実施校数	目標	53	53	53	53	53	校	各学校で総合的な学習の時間等を活用し、障がい者や高齢者の疑似体験などを行い、障がい者、高齢者への理解を深めることができた。 （例：【七山小中学校】車いすバスケットボール体験 【佐志小学校】ブラインドウォーク 車いす体験 高齢者体験（老眼・手足に重り等の負荷をかける等））	3.0	概ね順調だが、不十分な点が少しある		
				実績	37								①体験学習等の実施に係る時間等の確保に向け、各学校への啓発を行いたい。 また、コロナ禍における学習時間の確保が課題となっており、福祉教育を推進するにあたり、取り組み内容についても検討が必要となっている。		
				達成度	70%										



### ◆第3期唐津市地域福祉計画 基本目標ごとの達成度状況

基本目標	事業項目ごとの自己評価点								基本目標ごとの自己評価平均点				
	事業項目 1,9,16,20	事業項目 2,10,17,21	事業項目 3,11,18,22	事業項目 4,12,19,23	事業項目 5,13,24	事業項目 6,14,25	事業項目 7,15,26	事業項目 8,27	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本目標Ⅰ 地域での包括的な支援のために	3.0	3.0	4.0	4.5	4.0	4.0	3.0	3.0	3.6				
基本目標Ⅱ 利用しやすい福祉サービスの提供のために	4.0	3.3	3.0	3.0	3.5	3.5	2.5	—	3.3				
基本目標Ⅲ 福祉サービスの向上のために	4.0	4.0	3.5	3.0	—	—	—	—	3.6				
基本目標Ⅳ 参加しやすくするために	3.0	3.0	4.0	4.5	4.0	4.0	4.5	3.0	3.8				

